



中信平で初めての訓練!!

松本市と共同で排水ポンプ車実働訓練を行います

千曲川河川事務所には、現在、排水ポンプ車（30m³/min）5台が配備され、地方公共団体の要請等による内水被害の軽減に努めています。

そのため、迅速にポンプを設営し排水を行うために設営・排水・撤去訓練が不可欠であり、定期的に訓練を実施しています。

今回、中信平で初めてこの実働訓練を行い、広く住民の皆様に見学していただき、防災意識を高めていただければ幸いです。

記

日時：平成21年9月9日（水） 14時00分～15時00分

場所：松本市島内地先（奈良井川左岸 平瀬橋と島橋の間西側）

訓練場所位置図



8月25日飯山市での訓練状況



訓練には、地域住民はじめ、市町村関係者、地元消防団など、約50名の方々が見学に訪れ、飯山市からの挨拶に続き、千曲川河川事務所からも訓練の目的や手順について説明しました。

参考資料 8月25日飯山市での訓練状況

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所 026(227)7611

副所長（技術）白井 正己

管理課長 塚田 誠一

松本市からも同旨の記者発表が行われています。

8月25日飯山市(皿川樋門上流)での実働訓練状況

参考資料

国土交通省東北地方整備局 千曲川河川事務所 CHIKUMA RIVER INFORMATION ROOM 千曲川情報館

防災・災害情報 ニュース/イベント 入札契約情報 車検等と車検 環境への取り組み 知る・遊ぶ・協働 国土学習資料 リンク集

千曲川だより 発行:千曲川河川事務所 掲載日 2009/09/01

飯山市皿川で排水ポンプ車実働訓練を実施しました

千曲川河川事務所管内には、排水ポンプ車が5台配備されていますが、洪水の際に、迅速に確実な排水作業を行うためには、日頃からの排水ポンプの設置訓練が重要であり、定期的に訓練を実施しています。

近年多発している「ゲリラ豪雨」や、台風時期を迎えるにあたり、内水被害の発生が懸念される地域での防災意識を高めていただくため、飯山市の協力をいただき、同市内の皿川樋門において、ポンプ車の実働訓練を公開で実施しました。



訓練には、地域住民はじめ、市町村関係者、地元消防団など、約50名の方々が見学に訪れ、飯山市からの挨拶に続き、千曲川河川事務所からも訓練の目的や手順について説明しました。



なお、実際の内水氾濫の際は、ホースを堤防上に横断させる、皿川の内水を千曲川に排水します。

今回は訓練時間の制約もあり、そのまま皿川に水を循環することとしましたが、作業員の方々は、実際にポンプを稼働させるまで、一連の作業を手際よく進めていました。

また、訓練の途中、しるやま保育園児約20名も見学に訪れました。



今後も、いつ発生するか予測が難しい「局地的豪雨」などに対応するため、ソフト・ハード両面での充実をはかってまいります。

最後に、当訓練の実施にあたり、全面的にご協力をいただいた飯山市及び関係団体の皆さまに、この場を借りて御礼を申し上げます。